別紙2

平成１８年度事務事業評価調書（新規用）　北広島市

整理番号	18	事務事業名	都市計画街路整備事業	作成部署	建設部都市整備課	電話	内線750
事務区分	■自治事務　□法定受託事務	部長職名	高橋　通夫	課長職名	藤井　高志	作成日	平成１８年８月
事務事業開始年度	Ｈ１９	根拠法令等	都市計画法、道路法				
〃 終了予定年度	Ｈ２１						
事務事業の概要	都市計画道路大曲幸通（L=466m）は、国道36号、道央道北広島ICと現在施行中の大曲幸土地区画整理事業（組合施行）内の羊ヶ丘通を結ぶ幹線道路に位置付けられており、この路線のうち国道36号から区画整理事業区域界までの１５８mを地方道路整備臨時交付金により整備するものである。						

計　画

上位施策との関連（総合計画での位置付け）	章	高い都市機能をもち、活力にあふれるまち	（第　5　章）
	節	道路と交通	（第　3　節）
	施策	市内幹線道路･生活道路等の整備	（第　1　施策）
目　的（ここから成果指標を導きます）	対　象（誰、又は何を）	近隣住民及び道路を利用する人々	
	意　図（何をねらっているのか。対象をどのような状態にしたいのか）	国道36号、道央道北広島ICと現在施行中の大曲幸土地区画整理事業（組合施行）内の羊ヶ丘通を結び幹線道路へのアクセスルートを充実させ、流通産業機能を高めるとともに地区住民の公共施設や周辺商業施設等への利便性を向上させ、大曲幸土地区画整理事業を補完する。	
手　段（ここから活動指標を導きます）	市が行う事務事業の具体的な実施内容（※補助金等の場合は団体等の活動内容）	19年度	調査測量　（現況及び用地確定測量、支障物権調査） 道路設計　（詳細設計及び交差点協議） L=158m、W=21.0m
		20年度	建物等移転補償（共同住宅,倉庫、広告塔の移転補償及び動産･営業補償） 用地買収　一式
		21年度以降	建物等移転補償 用地買収　一式 道路築造　（L=158m、W=21.0m）

【費用の予定額】　（単位：千円）

	区　分	19年度予定額	20年度予定額	21年度以降予定額	
				21 ～ 21 年度	毎年度
直接事業費	国支出金		192,000	86,400	
	道支出金				
	地方債	14,400	96,000	43,200	
	その他特財				
	一般財源	1,600	32,000	14,400	
	①合　計	16,000	320,000	144,000	0
人件費（概算）	②人　数（年間）	0.50	1.00	1.00	
	③1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	④＝②×③	4,500	9,000	9,000	0
総事業費 ①＋④		20,500	329,000	153,000	0

整理番号	18

2 指 標

【事務事業を評価する指標（ものさし）】

	指 標 名		指標値 単位	19年度目標	20年度目標	21年度目標	22年度目標
活動指標（事務事業の活動量や実績）	活動指標①	道路整備換算延長	m	5	105	48	
	活動指標②						
	活動指標③						
成果指標（目的の達成度を測るものさし）	成果指標①	道路整備率	%	3	70	100	
	（整備換算延長/事業延長）						
	成果指標②						
	【指標の定義（算式等）】						

3 評 価

黄色の欄に数字を入力すると自動的に計算されます

評価項目	チェック項目	配点 低→高	事業担当部局の評価(1次)			行革本部の評価(2次)	
必要性と妥当性	市民や社会の要求はどの程度か（ニーズの度合）	1～5	4	15点満点	12	15点満点	12
	上位施策を達成するために必要な事務事業か（目的妥当性の度合）	1～5	4				
	行政が関与しなければならない事務事業か(公共性・公益性の度合)	1～5	4				
有効性	上位の施策への予想される貢献度はどの程度か（貢献度合）	1～5	4	10点満点	8	10点満点	8
	目的を達成するための手段（実施方法）は有効か（手段有効度合）	1～5	4				
効率性	投入する予算や人員に見合った効果が期待できるか（費用対効果の度合）	1～5	4	10点満点	8	10点満点	8
	事業の実施方法は効率的か（同じ経費でもっと効率的な方法はないか）	1～5	4				
公平性	受益者負担は適正か（適切な場合及びなじまない場合は5点）	1～5	5	5点満点	5	5点満点	5
緊急性	すぐ実施する必要があるか、熟度は高まっているか（緊急度合）	1～5	5	5点満点	5	5点満点	5
		計			38		38

法律で実施が義務付けられている事務事業か	□有 ■無

民間活力の活用性評価（事業担当部局が評価）		
	■	民間等での実施または市民等との協働の可能性はほとんどない。
	□	民間等での実施または市民等との協働が可能である。
	□	民間等で実施または協働して取り組むべきである。

説明（上記評価の総合的な説明）		
	事業担当部局	大曲幸通の整備は,大曲幸地区の商業・業務地区主体の土地利用の実現とその附加価値を高めるために不可欠である。また、羊ヶ丘通に連なる新たな工業団地構想も含め、工業団地群にとってもインターアクセスの重要路線となりうる道路であり、大曲地区全体の発展に繋がると考える。
	行革本部	道央道北広島IC、国道36号から未ケ丘通に直結するルートで、地区公共施設や周辺商業施設への利便性向上や現在施工中の区画整理事業の補完など、必要性や有効性、緊急性など全ての項目において高い事業である。

■新規事業優先度ランク

1次評価		2次評価		総合		ランク
38	＋	38	×2 ＝	114	⇒	☆☆☆

112～135⇒☆☆☆（各評価項目合計点数が高い）
81～111⇒ ☆☆（各評価項目合計点数が普通）
80以下 ⇒ ☆（各評価項目合計点数が低い）